

サイレージ用F₁トウモロコシ 品種選定のポイント

=ネオデント・ニューデントシリーズの紹介=

雪印種苗(株) 中央研究農場

高橋 穰



大きくて稔実の優れたピリカ 90 (S L 9305) の雌穂

はじめに

今春は低温・寡照が続き、冷害年を思い起こさせましたが、その後の天気回復により、一昨年の冷害、昨年的高温・干ばつに比べほぼ満足のできる作柄が確保されたと思われます。特にサイレージ用トウモロコシについては、一部の地帯を除き、台風や集中豪雨による倒伏や病気の発生も少なく、農家の方々も質・量ともに十分なサイレージが確保できたのではないのでしょうか。

当社では、今春、従来のニューデントシリーズに加え、耐病性・耐倒伏性を更に強化した自社育成品種『ネオデント・ピヤシリ 85』を新発売しました。来春は、これに続く2弾目として『ネオデント・ピリカ 90』を新発売いたします。

今回は、これらネオデントシリーズに重点をおき、併せて、ニューデントシリーズ各品種の特性ポイントとその使い分けについてご紹介いたします。

1 ネオデントシリーズ

1) 雪印育成品種第2弾!

耐病性・耐倒伏性・多収性に優れた新90日
ネオデント・ピリカ 90 (S L 9305)

『ピリカ 90』は当社中央研究農場で特に耐病性・耐倒伏性の改善を目的に育成した自殖系統を親とする当社第2弾の育成品種です。ピヤシリ 85 と同

様に耐倒伏性はもちろんのこと、すす紋病抵抗性は極強で90日クラスの流通品種の中では一番の抵抗性を示しています(図1)。

ピリカ 90 は上背があり、茎葉が極多収で、雌穂が太く登熟が早いため、一昨年の冷害年に最多収を示し注目されました。

図2にピリカ 90 の収量性を示しました。一昨年の冷害年と昨年的高温・干ばつ年の平均ですが、

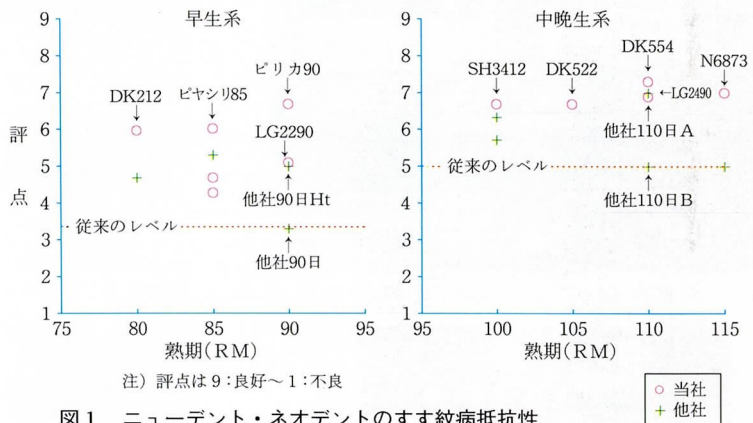
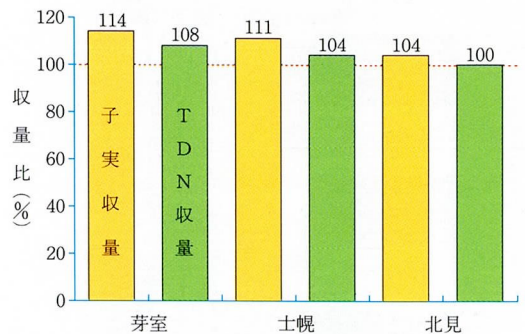


図1 ニューデント・ネオデントのすす紋病抵抗性



注) 他社90日を100%とする。
北見は1994年のみのデータである。

図2 ピリカ90の収量性 (1993~1994年の平均)

道内各地で他社 90 日に比べ特に子実が極多収, T D N 収量也多収を示しています (標題写真)。

ピリカ 90 は特にすす紋病多発地帯に最適で, 登熟が早く, 子実・茎葉ともに多収なため, 高栄養サイレージをご希望の方にお勧めします。また, 特にすす紋病が多発する日高の山沿いや十勝地方の太平洋沿岸, 道北・北見でも従来の 90 日では登熟・収量に不満のある方にお勧めです。なお, 最適栽植本数は 7,000~8,000 本/10 a です。

2) 十勝地方のすす紋病激発地帯にお勧め

ネオデント・ピヤシリ 85 (SH 1302)

今春より新発売の当社育成品種『ピヤシリ 85』は初期生育が極良で根張りが良く, 耐倒伏性が優れた品種です(写真 1)。また, 長くて不稔の少ない雌穂が特徴的で各地で好評を得ています。特に



写真 1 根張りが良く, 倒伏に強い「ピヤシリ 85」

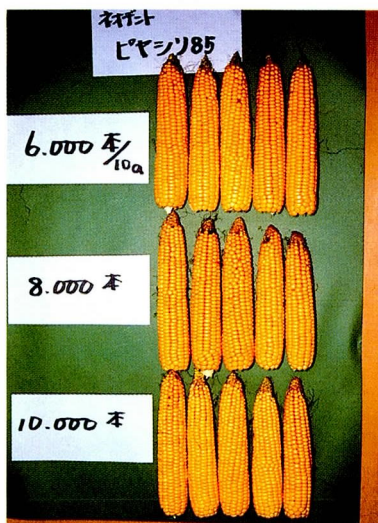
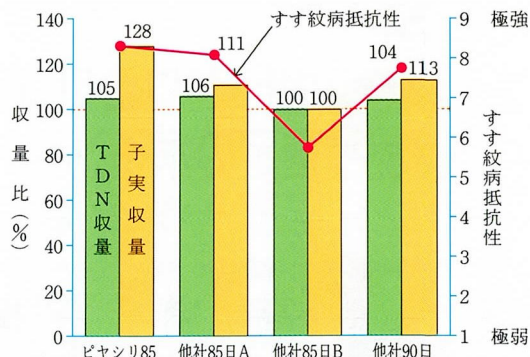


写真 2 1万本栽培でも不稔が少なく, 雌穂が大きい「ピヤシリ 85」



注) 収量比は他社 85 日 B を 100 とする。

図 3 ピヤシリ 85 の収量性 (1992, 芽室)

1万本/10 a 近く密植栽培しても, 他社品種に比べ倒伏の発生が明らかに少なく, 雌穂の不稔が少ないこともセールスポイントの一つです(写真 2)。

また, ピヤシリ 85 は長年すす紋病菌を接種し, 選抜された自殖系統を親とするため, すず紋病抵抗性は極強で, 接種試験では抵抗性で知られる他社 90 日 H t 以上の抵抗性を示しています(図 1)。そのため, すず紋病が多発した畑では, 抵抗性の劣る他社 85 日 B より明らかに子実・T D N 収量が多収になり, 収量性は他社 90 日をも上回ります(図 3)。ピヤシリ 85 は従来 85 日を栽培し, 病害や倒伏にお悩みの方や密植多収栽培をする方に最適です。

2 ニューデントシリーズ

1) 道東・道北の限界地帯・条件の悪い地帯や道東の小麦の前作に最適

①ニューデント 80 日 (DK 212)

DK 212 はすす紋病抵抗性が他社 80 日より明らかに優れ(図 1), 早熟で稔実が良く大きな雌穂が特徴的で, 短期栽培に適した品種です。

また, 他社 80 日に比べ倒伏に強いいため, 当社芽室試験地での密植適応性試験では, 他社 80 日が 6,300 本/10 a で 5%, 7,700 本/10 a で 5.1%, 9,900 本/10 a で 10.8%と倒伏が発生しましたが, DK 212 は全く倒伏の発生が認められませんでした。

DK 212 は根釧・道北地方や道東の小麦の前作にお勧めできる品種です。



写真3 稈長が高く、雌穂の位置が低い「LG 2276」

2) 十勝・網走・北見管内と道北地方に

②ニューデント 85 日 (LG 2276)

LG 2276 は耐病性に優れ、稈長が高く見栄えのする品種です。他社 85 日より明らかに早生に属し登熟が早いため、冷害年には好成績を納めています。特に一昨年の冷害年では初期生育が他社 85 日より明らかに優れ、TDN 収量は他社 85 日に比べ芽室：110%、土幌：115%、北見：102%と各地で多収でした。また、着雌穂高が低く、耐倒伏性も他社 85 日より優れています(写真3)。

③ニューデント 85 日 (LG 2266)

LG 2266 はアップライトの草姿が特徴的で、雌穂が大きく稔実性に優れた本格的なサイレージ用品種です。特に茎葉の消化率が改善され、他社 90 日が 42.7%の消化率に対してLG 2266 は 47.9%と明らかに高い消化率を示しています。また、稈長が低く、茎太で、耐倒伏性に優れ、1 万本/10 a 栽培でも不稔が少ないため密植栽培に適しています。

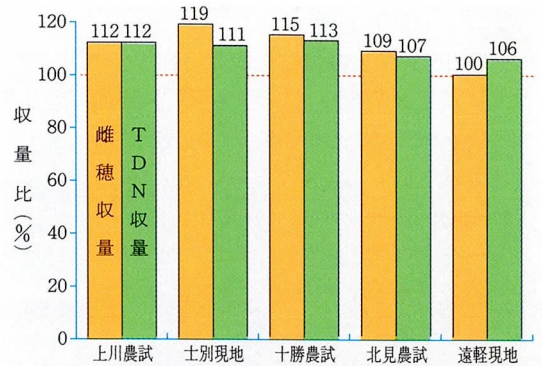
85 日クラスの使い分けは、十勝地方のすす紋病激発地帯や密植で多収を狙いたい方にはピヤシリ 85 を、すす紋病対策や収量性を重視される方は LG 2276 を、また、特に北見・網走地方や道北地方には耐倒伏性・消化性に優れた LG 2266 をお勧めします。

3) 十勝・網走・道北の条件の良い地帯に

道央・道南の条件の悪い地帯に

④ニューデント 90 日 (LG 2290)

今春よりすす紋病抵抗性の 90 日として新発売し



注) 他社90日を100とする。

図4 LG2290の多収性 (1994, 公的委託試験)

たLG 2290 は台風で倒伏が多発した年に耐倒伏性に優れたことで注目された品種です。倒伏が多発した今年の芽室試験地でも倒伏が明らかに少なく、その耐倒伏性を証明しました。

LG 2290 の雌穂は稔実が良く先まできれいに子実が入るのが特徴で、そのため昨年度の公的委託試験の結果では、他社 90 日に比べTDN収量は上川農試：112%、士別現地：111%、十勝農試：113%、北見農試：107%、遠軽現地：106%と明らかに多収でした(図4)。また、LG 2290 はすす紋病抵抗性にも優れ、当社のすす紋病接種圃場では抵抗性遺伝子を導入した他社 90 日 H t 並みの抵抗性を示しています(図1)。

LG 2290 は道東・道北地方の主体品種で、山沿い、海沿いの倒伏多発地帯、あるいは道央・道南地方の秋播き小麦の前作に適しています。また、密植多収を狙いたい方にも最適です。

⑤ニューデント 90 日 (LG 2304)

LG 2304 は太い雌穂とボリュームのある茎葉が特徴的で、冷害年・高温年ともにTDN収量が多収な品種です。また、茎葉の消化率が他社 90 日より優れ、ブリックス糖度が高いため、サイレージの品質が優れ、乳牛の嗜好性も良好です。

なお、このクラスは来春より3品種と厚みを増し、上手な品種選定がポイントとなります。すす紋病激発地帯や若干早生を希望の方はピリカ 90 を、すす紋病多発地帯や密植栽培をする方にはLG 2290 を、また、北見・網走・道北を中心に量的なものを希望の方にはLG 2304 をお勧めします。

⑥ニューデント 95 日 (L G 2409)

L G 2409 は耐倒伏性に優れ、雌穂・T D N 収量ともに多収な品種です。当社芽室試験地での密植適応性試験では、9,900 本/10 a の密植でも他社 93 日や他社 95 日に比べ明らかに倒伏・折損が少なく抜群の耐倒伏性を示しています。

L G 2409 は道東の条件の良い地帯や道央・道南の倒伏多発地帯にお勧めできる品種です。

4) 道央・道南の条件の良い地帯に

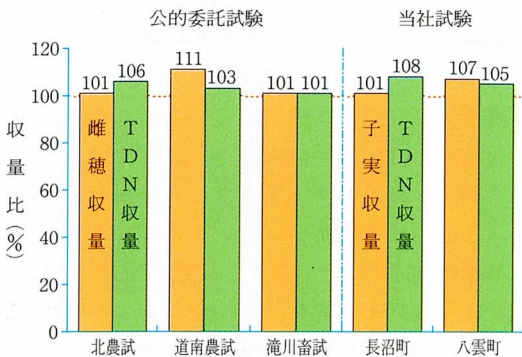
⑦ニューデント 100 日 (S H 3412)

S H 3412 はすす紋病抵抗性が他社 100 日より明らかに優れ(図 1)、雌穂が大きくアップライトリーフで草姿の見栄えのする品種です。昨年度の当社中央研究農場(長沼町)、八雲試験地では、このクラスの最多収品種の一つでした。また、公的委託試験でも雌穂・T D N 収量ともに各地で他社 110 日以上に多収でした(図 5)。

なお、本品種は密植栽培より 1 本 1 本を確実に栽培する方が多収になるタイプです。最適栽植本数は 6,500~7,000 本/10 a で、栽培に当たっては栽植密度の厳守がポイントです。

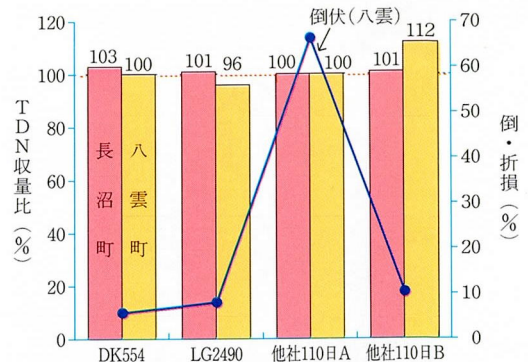
⑧ニューデント 105 日 (D K 522)

D K 522 はアップライトの草姿と大きな雌穂が特徴的で、耐病性・耐倒伏性に優れた品種です。倒伏が多発した昨年の八雲試験地では他社 110 日に 60%の倒伏が発生しましたが、D K 522 は 7.5%のみでした。また、S H 3412 に比べ茎葉とともに子実が多収で、T D N 収量は昨年の試験で他社 110 日 A に対して長沼：109%、八雲：112%と圧倒的に多収でした。



注) 他社110日を100とする。

図 5 SH3412の多収性 (1994)



注) T D N 収量比は他社110日Aを100とする。

図 6 ニューデント110日の成績 (1994年)

⑨ニューデント 110 日 (L G 2490)

L G 2490 は根張りが良く、耐倒伏性に優れた道央・道南のベストセラー品種です。T D N 収量は長沼・八雲ともに他社 110 日 A 並みに多収で、倒伏が多発した八雲試験地では他社 110 日 A や他社 110 日 B より明らかに強い耐倒伏性を示しました(図 6)。また、すす紋病抵抗性も他社 110 日 B より明らかに優れ、耐病性で知られる他社 110 日 A 並みに優れています(図 1)。

⑩ニューデント 110 日 (D K 554)

D K 554 はすす紋病抵抗性に優れ、長沼町の接種試験では、耐病性に優れる他社 110 日 A より強い抵抗性を示しています(図 1)。また、耐倒伏性も良好で、今年の八雲試験地では L G 2490 とともに倒伏が少なく、T D N 収量も他社 110 日 A 並みに多収でした。絹糸抽出期が早く、乾物率が高いため、特に冷害年に力を発揮する品種で、一昨年の冷害年の八雲では T D N 収量で他社 110 日 B に比べ 112%と明らかに多収でした。

これら 110 日クラスの 2 品種の使い分けは道央・道南地方の倒伏多発地帯や密植で多収を狙いたい方には L G 2490 を、すす紋病多発地帯や条件の良い地帯には D K 554 をお勧めします。

今回紹介した品種以外に、当社では道央・道南のすす紋病対策に最適なニューデント 115 日 (N 6873)、また、今春より新発売の耐病性・収量性に優れたスノーデント 119 日 (D K 652) を用意しています。このほか試作系統もありますので、最寄りの営業所にお問い合わせ下さい。